

News Letter

2024 年
6 月

中国四国農政局
山口県拠点

「大道理鹿野地の棚田芝桜まつり」に 地元女性農業者のマルシェと連携して参加しました

周南市のつなぐ棚田遺産「大道理鹿野地の棚田」の芝桜は、美しい景観を未来へつなぐため、地域の農家を中心とする大道理地区百笑倶楽部によって管理されています。集落の棚田一面（1万平方メートルの法面）に広がる芝桜は、12万株に上り、色とりどりの芝桜のコントラストは美しく、心癒されるものとなっています。

今年度の取り組みは、これまで山口県拠点が実施した女性農業者との意見交換において「自分たちもまつりに貢献したい」と声があったことから、当マルシェが実現したものです。

4月13日（土曜日）、4月20日（土曜日）の両日に3名の女性農業者から自らが地元で生産した農産物や加工品を販売してもらい多くの来場者で賑わいました。

山口県拠点では、両日、情報発信コーナーを開設し、「つなぐ棚田遺産」や「みどりの食料システム戦略」などに関連するパネル展示、パンフレットの配布を行いながら、来場者との交流を図りました。



（会場の全景）



女性農業者による出店の様子



（山口県拠点の展示ブース）

新茶の季節到来「宇部市お茶まつり」が開催されました！



宇部市お茶まつり 2024

山口県の日本茶栽培の歴史は古く、江戸時代から続いており、その日本茶の魅力を多くの方に見て・知って・飲んでもらうことを目的に、5月6日（月曜日）県内最大の茶どころ宇部市小野地区で「宇部市お茶まつり」が開催されました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、約1,800人が訪れ、新茶の体験を楽しみました。



まつりのメインの茶摘み・製茶体験には約60人が参加し、他にも粉末緑茶を使用した餅や新茶ティーバッグと餅をセットにした餅まきやフードコーナー・ワークショップなどが出店され賑わっていました。

「日常茶飯事」という言葉があるように、お茶は、伝統と文化を育みながら国民の生活に深く浸透し、豊かで健康的な生活の実現に重要な役割を担っています。

今後も新緑に囲まれた小野地域の茶園風景とともに、次世代にお茶文化が引き繋がれることを期待しています。



～ 日本茶と暮らそうプロジェクト ～ お茶の可能性は無限！「お茶×キャンペーン」



農林水産省は、新茶イベントや様々な取組を通じて日本茶の味わいを知ってもらい、生活の中に日本茶を取り入れてもらうため、消費者を惹きつける多彩な取組を行う茶産地や事業者と連携して情報を発信するキャンペーンを始めています。

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 山口県拠点

〒753-00880 山口市中河原町 6-16

TEL (083)922-5404 <農政局 HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>